

冬三表

あひ申さん事たゝ今ばかりなりこれを

臨終最後へりんじうさいごの教化へけうけとおぼせとなくく

申ければ七歳へさいにて母へはゝにわかれては

ねなき鳥へとりよりもたどくし人をおそ

ろしと思ひ人の命へめいをたがへじとあか

しくらし侍り十二三よりは身へみのほど

おもひしられて出家の心さしふかく侍

りき今さいわひにその思ひとげ侍り

ぬれば二世ののぞみかなひぬこれ父へちゝの恩へをんを